



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年2月12日

上場会社名 株式会社エスエルディー 上場取引所 東
 コード番号 3223 URL http://www.sld-inc.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青野 玄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部部長 (氏名) 富来 美穂子 TEL 03-6277-5031
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	3,926	15.5	95	△38.1	115	△28.5	67	△24.1
27年3月期第3四半期	3,399	—	154	—	161	—	89	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	52.14	48.88
27年3月期第3四半期	82.74	—

(注) 1. 当社は、第3四半期の業績開示を平成27年3月期から行っているため、平成27年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率の記載はしていません。

2. 平成27年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高はあるものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	2,259	986	43.6	759.70
27年3月期	2,034	916	45.0	708.84

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 985百万円 27年3月期 916百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期（予想）				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,521	21.9	273	34.3	285	40.0	169	46.2	131.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	1,297,280株	27年3月期	1,292,280株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	45株	27年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	1,297,154株	27年3月期3Q	1,077,653株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、有効求人倍率の上昇や賃金の増加等の雇用情勢の好転により、国内景気は堅調に推移しているものの、新興国における経済動向リスク等の懸念材料もあり、引続き予断を許さない状況にあります。

当社の属する外食産業におきましても、原材料の高騰、人件費の上昇等、依然として厳しい環境が継続しております。

このような外部環境において、当社はカルチャーコンテンツ提供企業としての成長及び企業価値の最大化を図るべく、営業力の継続的な拡大・強化を目指し、認知度の向上及び顧客層の拡大に努めてまいりました。

飲食サービスにおきましては、グリル肉をメインとした当社初のNEW YORKスタイルの店舗「HangOut HangOver」を渋谷に出店致しました。また、新業態となるチーズにこだわるカジュアルレストラン「Cheese Dish Factory 渋谷モディ店」や、和を軸としたカフェ食堂「atari CAFE&DINING 渋谷モディ店」の2店舗を株式会社丸井グループが展開する新商業施設「渋谷モディ」に出店する等、首都圏を中心としたドミナント戦略を強化致しました。以上の結果、平成28年3月期第3四半期末における総店舗数は69店舗となりました。また、忘年会シーズンである12月は、当社にとって最大の繁忙月であり、コースメニューの見直しによる単価改善等を行い、営業施策の強化に注力してまいりました。

コンテンツ企画サービスにおきましては、京都高島屋に開店しましたJ A全農京都の直営店「みのりカフェ」「みのり食堂」の店舗設計業務・商品開発業務及び店舗運営支援業務を受託致しました。これは福岡パルコの「みのりカフェ」に続く協業の取り組みとなります。また、「渋谷モディ」に開店しました株式会社スタイリングライフ・ホールディングスBCLカンパニーの直営店「ベキユアハニーマルシェ渋谷モディ店」内のジュースバー

「Honey's Kitchen」の商品開発業務及び店舗運営支援業務を受託致しました。これは当期に実施致しました同社製品を使用したアイスクリーム商品の開発に続く協業の取り組みとなります。さらに、埼玉県越谷市のイオンレイクタウンKazelに開店しました株式会社カプコンの直営キャラクターカフェ「カプコンカフェ」の商品開発業務を受託致しました。その他、人気アーティストとのコラボレーションメニューの提供等、当社の強みであるカルチャーコンテンツを活用した事業活動を展開してまいりました。当社は今後もアライアンスパートナーとの協業機会の拡充に注力してまいります。

しかしながら、当第3四半期累計期間におきましては、当社主力店舗が集中する首都圏における夏期の天候不順等の影響を受けた結果、当第3四半期累計期間の売上高は3,926百万円（前年同期比15.5%増）、営業利益95百万円（前年同期比38.1%減）、経常利益115百万円（前年同期比28.5%減）、四半期純利益は67百万円（前年同期比24.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して225百万円増加し、2,259百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末と比較して123百万円減少し、827百万円となりました。これは主に新規出店等に伴う現金及び預金257百万円の減少によるものであります。

固定資産は、前事業年度末と比較して349百万円増加し、1,431百万円となりました。これは主に新規出店等に伴う有形固定資産256百万円の増加、敷金及び保証金87百万円の増加によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末と比較して155百万円増加し、1,273百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末と比較して56百万円増加し、718百万円となりました。これは主に買掛金39百万円の増加、短期借入金31百万円の増加によるものであります。

固定負債は、前事業年度末と比較して98百万円増加し、555百万円となりました。これは主に長期借入金77百万円の増加、社債9百万円の減少、資産除去債務29百万円の増加によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末と比較して70百万円増加し、986百万円となりました。これは主に四半期純利益の計上による利益剰余金67百万円の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期の業績予想につきましては、平成27年11月12日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」の内容から変更はございません。

業績予想につきましては、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性がありますので、ご注意ください。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	676,613	419,485
売掛金	144,433	240,412
原材料及び貯蔵品	30,346	42,775
その他	99,764	124,815
流動資産合計	951,158	827,489
固定資産		
有形固定資産		
建物	774,722	1,064,554
減価償却累計額	△289,393	△345,451
建物（純額）	485,328	719,102
機械及び装置	—	9,000
減価償却累計額	—	△1,287
機械及び装置（純額）	—	7,713
工具、器具及び備品	234,609	267,441
減価償却累計額	△151,155	△176,094
工具、器具及び備品（純額）	83,453	91,346
建設仮勘定	4,729	11,386
有形固定資産合計	573,512	829,549
無形固定資産	2,227	1,826
投資その他の資産		
敷金及び保証金	469,269	556,823
その他	36,747	43,002
投資その他の資産合計	506,017	599,825
固定資産合計	1,081,756	1,431,201
繰延資産	1,337	993
資産合計	2,034,253	2,259,684

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	101,398	140,953
短期借入金	10,000	41,667
1年内返済予定の長期借入金	150,255	178,094
1年内償還予定の社債	18,000	18,000
未払法人税等	57,829	12,677
資産除去債務	3,381	1,054
その他	320,595	325,997
流動負債合計	661,460	718,444
固定負債		
社債	36,000	27,000
長期借入金	317,006	394,573
資産除去債務	103,771	133,543
固定負債合計	456,777	555,116
負債合計	1,118,237	1,273,560
純資産の部		
株主資本		
資本金	269,237	270,212
資本剰余金	253,237	254,212
利益剰余金	393,540	461,176
自己株式	—	△91
株主資本合計	916,014	985,509
新株予約権	0	614
純資産合計	916,015	986,123
負債純資産合計	2,034,253	2,259,684

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	3,399,213	3,926,525
売上原価	2,858,004	3,370,310
売上総利益	541,209	556,214
販売費及び一般管理費	386,767	460,651
営業利益	154,441	95,563
営業外収益		
受取利息	108	55
協賛金収入	17,662	23,925
その他	3,273	3,188
営業外収益合計	21,044	27,169
営業外費用		
支払利息	6,640	5,198
株式公開費用	3,200	—
その他	4,207	2,034
営業外費用合計	14,048	7,233
経常利益	161,437	115,499
特別損失		
減損損失	—	4,672
資産除去債務履行差額	14,118	—
特別損失合計	14,118	4,672
税引前四半期純利益	147,319	110,827
法人税、住民税及び事業税	57,271	41,191
法人税等調整額	879	1,999
法人税等合計	58,151	43,191
四半期純利益	89,168	67,636

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

当社は、店舗の運営等を通じたカルチャーコンテンツの提供を行う事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。